

たったひとつの思い

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン
「今日のフォーカスチェンジ」第2613号
(2010年12月24日発行)より

私の、5歳で亡くなった妹は、重度の脳性小児麻痺でした。生まれてから一度も光を見たこともなく、音を聴いたこともなく、ことばを発したこともなく（ことばを覚えることもできなかったわけですが）。からだのどこひとつ自由に動かすこともできず、ただベッドに横たわったまま、5年の生涯を終えました。

…と、ずっと思ってきました。そして、それ以上のことを、私は想像したことはありませんでした。たとえば、妹は、どんな気持ちで、その5年間を生きていたのだろうか。

だって、生まれてから一度も、目も見えず耳も聴こえず話すこともできず、指一本、自分で動かすこともできない妹に、何ができたでしょう。考えるためには、ことばが必要です。でも、妹はことばを知りませんでした。教えることも覚えることもできなかったからです。

…と、ずっと思ってきました。でも、それは、本当に本当だったのか。私は、はじめて疑問に思っています。

たしかに、ことばは知らなかったかもしれま

せん。それでも、まちがいなく、感情はあったはずです。ほかの子どもたちのように、泣いたり笑ったりとかたちで表現することはできなくても、妹なりに何かは感じていたと思うのです。ただ、麻痺がすべてに及んでいたために、私たちにわかるかたちで表現できなかつただけで。

…いえ。母だけは、それがわかっていたと思います。あの年、たしかにこう言っていたのです。「どうも最近、むずかるんだよね」と。

妹が生まれてから、24時間365日。母は、妹につきっきりで介護をしていました。そんな母だからこそ、妹の微細な変化を感じ取ることができたのでしょうか。ことばを発することができなくても、からだを動かすことができなくても、表情を変えることができなくても。妹は、自分の気持ちを、表現していたのだと思います。表現しようとしていたのだと思います。

その年、妹は、遠く離れた養護施設に入ることになっていました。からだが少しずつ大きくなってきて、母ひとりで介護するのは、むずかしくなっていたからです。もう、おむつも何もかもそろえて、あとは行く日待たばかりになっていました。もちろん、妹にはそんなことは、わかっていなかったはずですし

発作が起きたのは、食事中でした。母は毎日毎日、三度の食事を、妹を抱っこして、流動食のようなものを食べさせていました(妹は

噛むということが、できませんでしたから)。

ところが、その日、てんかんのような発作が起きて、食べていた食事が、気管に入り、詰まってしまったのです。あつと言う間のできごとでした。麻痺のために、妹は、むせるということができなかつたのです。そして、そのまま、母の腕に抱かれたまま、亡くなりました。

あれから長い年月が過ぎました。いま、私はふと思うのです。妹は、本当は、家を離れたくなかつたのではないかと。家族と離れたくなかつたのではないかと…。このままずっと、母に抱かれたままでいたい。家族と一緒にいたい。もしも、妹が自分の気持ちを表現することができたとしたら、きっとそう言っただろうと思うのです。

そして、もしかしたら、妹は、自分の意思で死を選んだのかもしれませんが。もちろん、妹には、何かを意図することはできません。発作は発作。ただの偶然かもしれません。でも、妹にとって、それは、「母と(家族と)ずっと一緒にいる」ためにできる、たったひとつの方法だったような気がします。最初で最後の、妹自身の表現、最初で最後の、メッセージだったのかもしれませんが。

あのときから、妹は、ずっと、私たちとともにいます。離れても永遠に、ともにいます。ある意味で、妹の望みはかなつたのです。

どんな状態にあつても、私たちは、思いとい

うものをもっています。思いを伝えたいという気持ちをもっています。だとして、どんなかたちであつても、受け取ってほしいと思うのです。受け取るために、ありとあらゆる方法を探してほしいと思うのです。生きているかぎり、方法は、必ずあります。生きているかぎり、可能性は、必ずあります。

今日のメッセージを読んでいただいたあなたに、ここからお願いします。どんな状態にあつても、あなたの目の前にいるひとは、思いをもっているのです。生きているからこそ、その思いを受け取ることができるのです。そしてまた、あなたもまた、生きているからこそ、思いを伝えることができるのです。

どうぞ、それをみずから、断ち切らないでください。ないものとしてしまわないでください。どんなに困難であつても、ときに絶望したくなるようなことがあつても、けつして見失わないでください。そうすることで、私たちは、つながることができるのです。

それが、妹が死をかけて伝えてくれた、たったひとつの思いです。

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、2003年11月1日創刊。2010年12月、2600号達成。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>